

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
サルモネラ菌性 胃腸炎	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(12): 5366-71	米国で広域抗菌スペクトルに耐性を持つSalmonella enterica Newport株がヒト及び動物の両方で病原菌として急速に広 がっている。Newport株について遺伝子を調べた結果、 Salmonella enterica Newport株のMDR-AmpC型がヒト及び動 物から共通して見出されたことから、食物連鎖によってMDR- AmpC型の株がヒトへ感染する可能性が示唆された。	576	大日本製薬	コンドロイチン硫酸鉄	コンドロイチン硫酸ナ トリウム	ウシ軟骨 (気管)	米国、メキシ コ	添加物
ジフテリア	ProMED 9/27, 2003 (Times of India 9/17, 2003)	インドで、最近2週間にジフテリアに非常によく似た病態を呈 する原因不明の疾患の患者6名が発生、そのうち1名が死亡 した。	349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモ ノクローナル抗体	マウス腹 水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハ ムスター の腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児 血清	カナダ、米 国、オース トラリア、NZ、 コスタリカ、 ニカラグア、 エルサルバ ドル、パナマ 又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オース トラリア又は ニュージーラ ンド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血 清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘 膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指 腸		有効成分
重症急性呼吸器 症候群	CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗 体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽 性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通 感染症であることが示唆された。	437	日本ケミカルリ サーチ	ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国	有効成分
重症急性呼吸器 症候群	FDA Guidance for Industry, September 2003	米国FDAが発出したSARSに対する血液製剤の安全性評価 に関する業界向け最終ガイダンス。	325	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	ヒト血液	米国	有効成分
			326	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	ヒト血液	日本	有効成分
			360	化学及血清療 法研究所	1 乾燥弱毒生風しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチ	人血清アルブミン	ヒト血液		1,2 添加物 /製造工程
			361	化学及血清療 法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブ リン	ペプシン処理人免疫 グロブリンG分画	ヒト血液		有効成分
			413	化学及血清療 法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロ ブリンG	ヒト血液	①米国(ベニ ロン)②日本 (献血ベニコ ン-I)	有効成分
			414	化学及血清療 法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンピンIII	アンチトロンピンIII	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			469	日本製薬	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	血液凝固第Ⅸ因子複合体	ヒト血液	日本	有効成分
			492	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分
			526	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分
			575	化学及血清療法研究所	1 乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	1,2 製造工程
			639	日本製薬	1,2 ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	①日本、②現在は製造していない	1,2 添加物
			640	日本製薬	1,2,3 トロンビン	トロンビン	ヒト血液	①②日本、③は未発売	有効成分
			641	日本製薬	1,2 人血清アルブミン 3,4 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	ヒト血液	①③日本、②④は現在製造していない	有効成分
			642	日本製薬	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②は現在製造していない	有効成分
643	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	日本	有効成分			
重症急性呼吸器症候群	IASR 2003; 24(12) (CDC MMWR, 10/17, 2003/52(41): 986-7)	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。	567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	Infectious Agents Surveillance Report 2003; 24(12): 330	米国CDC・MMWRによると、中国広東省での調査の結果、SARSコロナウイルスが無症状感染を起こすという血清学的証拠が示唆された。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
重症急性呼吸器症候群	ProMED 9/25, 2003 (Channel News Asia 9/24, 2003)	中国広東省でSARSが流行発生する前に採取した2001~2002年の血液検体1621件のうち、16検体がSARSウイルス抗体陽性となった。	311	持田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿		有効成分
			312	持田製薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	ヒト(閉経期婦人)尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	ProMED 9/25, 2003 (Guangzhou Daily 9/24, 2003)	中国広東省でSARSが流行発生する前に採取した2001~2002年の血液検体1621件のうち、16検体がSARSウイルス抗体陽性となった。	432	持田製薬	インターフェロンアルファ	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物/製造工程
			567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
重症急性呼吸器症候群	THE LANCET 2003; vol.362, August30, 714	カナダ・ブリティッシュコロンビア州で、2003年7月以降にSARSの流行の疑いがあったが、調査の結果、SARSウイルスとは違うコロナウイルスの他の型であろうと推測されている。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第XⅢ因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第XⅢ因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 348(20): 1953-66	中国他7カ国において、コロナウイルスによるSARSが爆発的に発生。媒介は動物で、ヒトの移動により拡大したと考えられた。原因は新しいタイプのコロナウイルスである。	333	東和薬品	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿抽出物	中国	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。	611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。	611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分
重症急性呼吸器症候群	WHO Weekly Epidemiological Record 2003; No.35, August 29; 311	2002年11月~2003年8月のSARSの罹患累積数、死亡症例数等を国別に掲載。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
重症急性呼吸器症候群	WHO WPRO HP SARS Press Releases 1/19, 2004	中国で2003年夏のSARS終息宣言後、初のSARS感染者3名が広東省で確認された。感染源については未だ特定されていないが、3名は2003年の集団発生時に確認された症例より症状は軽かった。	616	富士製薬工業	脳下垂体ホルモン剤	胎盤性性腺刺激ホルモン	妊婦の尿抽出物	中国、ブラジル	有効成分
シュードモナス感染	J Hosp Infect 2003 54(2) 158-60	フランスで抗生物質を投与されていた63例の妊婦中、11例で産分泌液から緑膿菌が検出された。そのうち5例が出生新生児で菌検出あるいは感染が確認され、うち3例が劇症の敗血症のため死亡、疫学的調査から母子感染が確認された。新生児感染の独立したリスクは、抗生物質での治療期間と出産回数だった。	537	シエリング・ブラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
人畜共通感染症(サル痘)	FDA HP/CDC/MEDIA RELATION/ August 7, 2003	米国CDCによると、2003年7月30日現在の米国におけるサルのサル痘は、調査中72例、検査確定37例である。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分
			291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	人アンチトロンピンⅢ	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1,2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1,2,3,4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5,6 添加物
			612	ベネシス	1,2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分			
人畜共通感染症(サル痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22(12): 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたプレーリードッグであった。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
セントリス脳炎	2theadovocate.com 9/24, 2003	米国ルイジアナ州で4名のセントリス脳炎患者が発生し、うち1名が死亡した。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
			297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピンⅢ	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
大腸菌性胃腸炎 (腸管出血性大腸菌O118)	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(8): 1027-8	2002年2月、ブラジル・サンパウロでウシ便を調査したところ、多剤耐性の腸管出血性大腸菌O118が発見された。	146	沢井製薬	コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ又はサメの軟骨	ウシ:アメリカ	有効成分
炭疽	PrAVDA.Ru 10/2, 2003	ロシア・Volgogradでウシからヒトへの炭疽の感染が発生、患者3名が記録され、うち2名は精肉包装工場で感染した。	314	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNaseI	ウシ脾臓	アメリカ	製造工程
			315	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシ血液	オーストラリア	製造工程
			316	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	カナダ	製造工程
			348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
炭疽	ProMED 1/31, 2004 (Novosti Rcssii 1/29, 2004)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市の小規模農場で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認された。このブタと接触のあった4名が入院した。	615	伊藤ライフサイエンス	パルナパリンナトリウム	パルナパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 10/17, 2003 (IRINNEWS.org/国連人道問題調整局)	キルギスタン南部で炭疽に感染したウシから、ヒト8名に感染した疑いがあり、現在入院中である。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 10/4, 2003 (Pravda 10/2, 2003)	ロシア・Volgogradでウシからヒトへの炭疽の感染が発生、患者3名が記録され、うち2名は精肉包装工場で感染した。	264	伊藤ライフサイエンス	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 2/5, 2004 (ITAR-TASS 2/4, 2004)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。	615	伊藤ライフサイエンス	パルナパリンナトリウム	パルナパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分
炭疽	ProMED 8/12, 2003 (News release 8/12, 2003)	米国サウスダコタ州Butte郡の大規模ウシ牧場で炭疽が発生し、ウシ160頭が感染、うち10頭が死亡した。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ脾臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリボプロテイン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
炭疽	ProMED 8/19, 2003 (Allan Preston 8/19, 2003)	カナダ・マニトバ州でウシの炭疽が1症例発生。	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程
			174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ脾臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程
			175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			176	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリポプロテイン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			177	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程
			178	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分
			302	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	トロンピン画分	ウシ血液	ニュージーランド	有効成分
デング熱	British Medical Journal 2003; 327(7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。	588	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
デング熱	ProMED-mail 10/8, 2003 (HK Dept of Health 10/7, 2003 Press Release)	中国香港で、衛生署と食品環境衛生署は本年初のデング熱の地域内感染確定例(26歳・男性)を確認、予防措置を取るよう警告した。	364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1,2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1, 2, 3, 4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅴ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5, 6 添加物
			612	ベネシス	1, 2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
			613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分
伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2003; 121(6): 955-6	免疫グロブリン製剤投与によるパルボウイルス感染を主張する最初の報告に対するレビュー。免疫グロブリン投与自体が伝染性紅斑の推奨治療法であることから、ウイルスのDNA配列検査等、より明確な因果関係評価による再検討が必要である。	583	日本シエリング	インターフェロンベータ1b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
東部ウマ脳炎	Baltimore Sun, 7/30. 2003	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Herald Tribune, 8/14. 2003	米国ルイジアナ州で飼育されていたウマ9頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 8/29, 2003	米国ノースカロライナ州で、スコットランド郡の小児が東部ウマ脳炎に感染したことが確認された。同州で今年初めてのヒトへの感染事例である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンビン画分、アプロチニン	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンビン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンビン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			301	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンビン画分、アプロチニン	ウマコラーゲン	ウマアキレス腱	フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア	有効成分
東部ウマ脳炎	News and Record, 8/20. 2003	米国ノースカロライナ州で飼育されていたウマ1頭が東部ウマ脳炎に感染した。今年は州内で動物での東部ウマ脳炎感染確定例が73例発生している。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	Philadelphia Inquirer, 8/20. 2003	米国ニュージャージー州で飼育されていたサラブレッド1頭が東部ウマ脳炎に感染した。	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程
東部ウマ脳炎	ProMED 8/1, 8/9, 8/21. 2003 (Baltimore Sun 7/30, Annonston Star 8/7, News and Record 8/20. 2003)	米国で東部ウマ脳炎による人の死亡(アラバマ州で2例)、ウマの感染が確認されている。	158	北里研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程
			160	北里研究所	1, 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程
			161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造工程
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 8/2. 2003 (Baltimore Sun 7/30, 2003)	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 8/2, 2003 (Baltimore Sun 7/30, 2003)	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。	303	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	有効成分
			304	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物
			324	ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	非献血:米国、献血:日本	有効成分
			327	ベネシス	1 トロンピン 2 フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	トロンピン	ヒト血液	日本	1, 2 有効成分
			328	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分
			329	ベネシス	ウリナスタチン注射液	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
			331	ベネシス	1 乾燥人フィブリノゲン 2 フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	凝固性たん白質(精製フィブリノゲン)	ヒト血液	日本	1, 2 有効成分
			364	ベネシス	1 ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 2 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国	1, 2 有効成分
			365	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ヒト腎細胞	日本	有効成分
			366	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物/製造工程
			393	ベネシス	ナサルブラーゼ(細胞培養)	ウマIgG	ウマ血液		製造工程
			420	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	ヒト血液	米国	有効成分
			514	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	ヒト尿	中国	有効成分
			515	ベネシス	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
			611	ベネシス	1, 2, 3, 4 人血清アルブミン 5 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子 6 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	①②⑤⑥日本、③④米国	1~4 有効成分、5, 6 添加物
			612	ベネシス	1, 2 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 3 人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	①日本、②③米国	1~3 有効成分
613	ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	血液凝固第Ⅳ因子	ヒト血液	日本	有効成分			
東部ウマ脳炎	ProMED-mail 9/29, 2003 (Richmond Times-Dispatch 9/25, 2003)	米国バージニア州で70歳代の男性が東部ウマ脳炎で死亡した。同州で今年初めての東部ウマ脳炎の死亡例である。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			301	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ウマコラーゲン	ウマアキレス腱	フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア	有効成分
トキソプラズマ症	Ann Agric Environ Med 2003; 10: 125-8	ポーランドでヒトのトキソプラズマ症が見つかった農場において、検査したウサギ2羽から高力価のトキソプラズマIgG抗体が検出され、調査した結果、ウサギがトキソプラズマの感染源となることが示唆された。	233	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
トリコスポロン感染	J Mycol Med 2003; 13: 155-6	Trichosporon mucoidesが糖尿病患者の尿から分離された。本菌は表在性感染として検出されるが、時々、免疫能が低下した全身性感染症にも見られる。本症例は尿路感染に関連した最初の報告である。	635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
日本脳炎B型	OIE Diseases Information, 9/20 2003; Vol.16-No.39	2003年8月、鳥取県でウマ1頭が日本脳炎で斃死した。日本のウマでは15年ぶりの日本脳炎の発生で、他に日本脳炎の疑いのあるウマは5頭いる。	393	ベネシス	ナサルプラゼ(細胞培養)	ウマIgG	ウマ血液		製造工程
日本脳炎B型	日本ウイルス学会第51回学術総会2003 10/27-29 研究発表抄録198	日本各地のウマの日本脳炎ウイルス(JEV)NS1抗体の保有状況を調査し、自然感染率を推定したところ、比較的高い頻度でJEVの曝露を受けていることが明らかになった。	569	化学及血清療法研究所	1 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 2 ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 ジフテリアトキソイド	血清	ウマ血液		1~6 製造工程
			570	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分
			571	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	マムシウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分
尿路感染	Scand Journal of Infectious Diseases 2003; 5: 512-4	イスラエルで溶血性肺炎球菌がヒト尿検体から分離された78歳男性の症例報告。	245	高田製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分
脳炎	ProMED 10/13, 2003 (Nwesda 10/12, 2003)	米国ニューヨーク市スタテンアイランド地区住民の4名が原因不明の脳炎で重体入院中。SARSは除外、WNV検査陰性で、今後とも検査等を実施する。	355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
野兔病	Eurosurveillance Weekly 2003; 7(33): 8/14	スウェーデンにおいて、2003年7月1日~8月11日に109例の野兔病患者がスウェーデン感染症研究所(SMI)に届けられた。	233	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分
野兔病	ProMED-mail 9/2, 2003 (Rock Springs Daily Rocket-Miner, Associated Press, 9/2, 2003)	米国ワイオミング州で生後18ヶ月の女兒が虫(メクラアブ)に刺され、野兔病に感染した。小児が野兔病に感染するのは珍しい。	297	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	アンチトロンピンⅢ	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	製造工程
			298	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	有効成分
			299	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	ヒトアルブミン	ヒト血液	ドイツ、オーストリア、米国	添加物
			300	鳥居薬品	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	トロンボプラスチン	ウサギ脳	ニュージーランド	製造工程
肺炎	ProMED 8/29, 2003 (The Sicney Morning Herald, 8/28 2003 & The New Zealand Herald, 8/28 2003)	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			349	エーザイ	モンテプラゼ(遺伝子組換え)	抗モンテプラゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
肺炎	The New Zealand Herald 2003/8/28	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
肺炎	The Sidney Morning Herald 2003/8/28	ニュージーランドで原因不明の肺出血で3名が突然死。	186	第一サントリーファーマ	インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液		添加物
肺炎球菌性敗血症	臨床血液 2003; 44(6): 381-385	血小板輸血を受けた原発性骨髄繊維症の男性が敗血症性ショックで死亡した。白血球除去フィルターと凍結血漿から肺炎球菌が検出され、ショックの原因ではないかと疑われた。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマ1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
梅毒	GDR Weekly HP July 31; 2003	南ロンドンで異性間の梅毒症例が増加。2001年の症例数25に比べ、2003年は5ヶ月で40症例に達している。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
梅毒	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 8/15, 2003	南ロンドンで異性間の梅毒症例が2001年に比べ3倍増。症例の大部分が男性同性愛者で、高率でHIVIにも感染していた。	348	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒト肝臓	日本	有効成分
破傷風	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/28, 2003	2003年7月以降、英国で注射による薬物使用者における破傷風の5例が報告されている。いずれもここ2週間に報告されていること、地理的に広範囲分布していることから、薬物使用者での更なる破傷風発生が予想される。	537	シュering-プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
破傷風	ProMED 11/30, 2003 (The Guaedian 11/24, 2003)	英国で破傷風により女性1名が死亡し、その他5名の患者が発生した。静注薬物乱用者での破傷風流行が疑われる。	537	シュering-プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
破傷風	ProMED 12/2, 2003 (英国保健保護局 11/30, 2003)	2003年7月以降、英国西部で注射による薬物中毒者から死亡患者1名を含む破傷風の7名が報告されている。今回の事例が1ロットの薬物汚染が原因とすれば、破傷風の潜伏期は4~14日であるので、流行はほぼ終息した可能性がある。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
破傷風	ProMED 12/9, 2003 (Eurosurveillance 7(49) 12/4, 2003)	2003年7月以降、英国西部で注射による薬物中毒者から死亡患者1名を含む破傷風の8名が報告されている。今回の事例が1ロットの薬物汚染が原因とすれば、破傷風の潜伏期は4~14日であるので、流行はほぼ終息した可能性がある。	537	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ2b	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物
パストレラ菌性敗血症	Scandinavian Journal of Infections Diseases 2003; 35(8): 512-4	イスラエルで78歳の灼熱感、排尿困難を訴えた男性患者の尿からパストレラ菌が検出された。患者は飼犬に噛まれたことはなく、動物によるスクラッチや咬傷はなかった。	567	持田製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿		有効成分
			635	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿		有効成分
発熱(不明)	ProMED 9/18, 2003 (Channel News Asia 9/18, 2003 & The Times of India 9/18, 2003)	インド北部で原因不明の致死的な感染症が流行し、10名が死亡、30名が入院中である。	291	塩野義製薬	1 テセロイキン(遺伝子組換え) 2 インターフェロンガンマー1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	1,2 添加物
			349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
			350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程
			351	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
			349	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水		製造工程
350	エーザイ	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ベビーハムスターの腎臓		製造工程			

感染症(PT)	出典	概要	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
			351	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	カナダ、米国、オーストラリア、NZ、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ又はウルグ	製造工程
			352	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	米国、オーストラリア又はニュージーランド	製造工程
			353	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清		製造工程
			354	エーザイ	モンテプラーゼ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓		製造工程
			355	エーザイ	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜		有効成分
			584	エーザイ	セクレチン	セクレチン	ブタ十二指腸		有効成分
バベシア症	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(8): 3494-8	日本のイヌに寄生するイヌダニについてDNA塩基配列解析法で調査した結果、Babesia canis vogeli DNAの部分的配列やBabesia gibsoni Asia-1DNA、さらにはBabesia odocoileiとBabesia divergensの塩基配列に類似した新塩基配列が検出された。	224	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			226	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	ヒト血液	日本	有効成分
			227	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	ヒト血液	日本	有効成分
			228	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			344	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			402	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	ヒト血液	日本	有効成分
			403	日本赤十字社	人全血液	人全血液	ヒト血液	日本	有効成分
			589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
バベシア症	Transfusion 2003; 43(9s): S44-030H, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国において、バベシア症の原因となるB.Microti感染が疑われ、血清学的検査が陽転した供血者(54人)の遡及調査を行った。これにより、調査前12ヶ月以内に当該供血者の血液から製造された輸血用血液製剤の受血者にB.Microti感染の可能性が高いことが示唆された。	589	日本赤十字社	合成血	合成血	ヒト血液	日本	有効成分
バルボウイルス感染	Complementary Medicines Evaluation Committee(CMEC) Public Recommendation Summary, Meeting 43, 11/28, 2003	オーストラリア代替医療評価委員会(CMEC)は、ブタ由来の膵臓酵素抽出物を含む製品は、登録代替医薬品の材料としての使用に適しており、ブタバルボウイルス(PPV)の感染性を減らすのに適切な方法や要件導入の時期について、TGA(Therapeutic Goods Administration)が企業に意見を求めること、PPV不活化のバリデーションを行うことなどを勧告した。	614	ベネシス	1,2 人血清アルブミン 3 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 4 人ハプトグロビン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜		1~4 製造工程
バルボウイルス感染	Vox Sanguinis 2002; 82(1): 18-23	PVB19が高濃度の供血は、迅速で簡便な赤血球凝集法により検出が可能であり、また中和抗体の存在は特異的な赤血球凝集反応を妨げる可能性がある。	205	ベネシス	1 乾燥抗HBs人免疫グロブリン 2 乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 3 ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	ヒト血液	米国	1~3 有効成分